

医療・介護等、生活に密着した健康福祉委員会副委員長を拝命しました！



議員会館でIR推進法案や大阪会議への総務省見解についてヒアリング！

今年度は健康福祉委員会の副委員長を拝命することになりました！健康福祉委員会は、堺市役所の組織で言えば、「健康福祉局」と、「子ども青少年局」を所管しており、医療、介護、福祉、年金、保育、と市民に直結した業務が極めて多い、議論すべき内容も多岐にわたる委員会となります。特に今年度は7月1日に堺病院が「堺市立総合医療センター」としてリニューアルした

事もあり、この素晴らしい施設のスタートダッシュを後押しする使命も帯びており、やりがいがある分責任も重く気が入ります！

今議会での初質疑では、本市の子ども医療費助成制度と生活保護制度について取り上げました。わが国が、特に地方自治体が抱える最も大きな課題は人口減少です。もちろん人口減少は負の側面だけではありませんが、少なくとも社会保障制度に関しては生産年齢人口の減少は財政基盤を直撃します。行政サービスの水準を守りながら、市の財政破綻を回避するためには限りある資源をいかに有効に使うかという問題意識は常に持ち続けねばなりません。

本市の子ども医療費助成は一回ワンコイン、月千円までという全国トップクラスのサービスを提供していますが、これを維持するために堺市の税金が毎年25億円近く使われています。もちろん、現役バリバリの子育て世代議員として素晴らしい政策であると評価していますが、良い政策であるからと言って無頓着に続けてよいものではないと考えます。制度を維持するためには、制度が現在の形になって5年となる本年度を機に、堺の子どもたちに、そして市民にどのようなメリットがあったのか、しっかりとしたデータに基づいた成果指標を示す必要性を訴えました。

生活保護制度に関する質疑では、ちょうど千葉県銚子市で起こった、生活に困窮した母子家庭の母親が公営住宅の立ち退きを迫られ、将来を悲観して実の娘に手をかけるといった、行政の連携不足も懸念される悲惨な事件を取り上げた新聞記事を目にした事から、本市ではこのような事例が発生するリスクは無いのか、確認の意味を含めて質問しました。究極のセフティーネットでありながら、一方で不正受給の問題等が指摘されることも多く、市民の行政不信、制度不信の大きな要因ともなっています。全国の生活保護受給世帯は平成27年3月に過去最高を更新し、本市においても平成21年度から平成27年度までに約4,600世帯が増加している状況です。医療扶助費が生活保護費の約半分を占めている中でのジェネリック薬を活用した医療扶助費の適正化の取り組み、具体的な不正受給対策、保護が必要な人への確実な保護の実施、相談窓口と公営住宅との連携、就労支援の取り組み状況、貧困の連鎖を防止する取組みについて議論を深めました。担当課や竹山市長からも、それぞれしっかりと取り組むとの答弁を引き出すことが出来ました！

木畑ただしへのご意見はこちらから！



info@kibata.jp

木畑ただし略歴

昭和51年7月19日生 妻・一男二女と5人家族 大教大付属平野中卒、大学入学検定合格、甲南大学法学部卒、同志社大大学院中退、衆議院議員公設秘書、水産会社役員を経て、平成23年4月に堺市議会議員に初当選。平成27年4,552票もの多くのご支持を得て2期目当選を果たす。現在、堺市議会議員(2期)、民主党大阪17区代表代行、堺高石青年会議所理事としてより良い堺創りに奮闘中

6~7月の活動写真館

20日(土) 日台の少年野球交流！



副会長を仰せつかつている、両国の親善のため発足した「日台少年軟式野球親善交流協議会」の第1回大会が無事開催されました！

5日(日) 堺市の予算要望に同席！

党側からは平野元文科大臣、樽床元総務大臣、森山前代議士の出席のもと堺市からの予算要望！



通常号 定価 1部 100円(消費税込み) 年間購読料 3,000円(送料含む)

The Democratic Party of Japan

平成9年4月25日 第3種郵便物認可



平成27年7月発行
号外
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

きばちゃんずボイスvol. 79
中区最年少！堺市議会議員
木畑ただし後援会通信